

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	独語第二（再履）		
英文授業科目名	Elementary German II		
開講年度	2008年度	開講年次	2年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	演習	単位数	2
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目ⅠⅠ		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	湯川 敬弘		
居室	東1-607		

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
(a) 主題：独語第一（再履）にひきつづき、独文法の基本を身につけながら、ドイツ語的形式思考訓練を徹底せしめる。 (b) 達成目標：文法に従って文が読めるようになる。日本語の意味理解との違いがわかる。

【前もって履修しておくべき科目】
独語第一

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
特になし

【教科書等】
プリントの問題を中心にする。

【授業内容とその進め方】
(a) 授業内容 第一の授業での形式的思考への頭の切り替えができると、格変化と人称変化、動詞の位置の意味がわかる。そこで過去形と人称変化、不定詞句と助動詞構文の関係などを理解し、簡単な文を読む (b) 授業の進め方：

電気通信大学 平成20年度シラバス

プリントの問題を中心に、必ず全員にあたるようにする。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法：

中間試験・期末試験および演習・宿題の結果を、次のように総合評価する。

成績評価 演習・宿題 30%

期末試験 70%

(b) 評価基準：

すべての課題が受理されていること。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けないが、適宜相談に応じる。メールで事前に連絡すること。

【学生へのメッセージ】

大学の授業は自分で問題を見つけることが出来ること、それに対して自分の頭で考えられるようになることが第一。

【その他】

なし